

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こども療育センターきりとも「さくらんぼ」		令和 7 年 6 月 23 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		スペースは満たしているが、お子さんの情緒によっては落ち着ける空間が必要になる時がある。そのためお子さんの相性・情緒によってスペースを工夫している。	法人内のスペースを活用しながら、お子さんの活動場所を確保していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		集団療育においてサブの職員を置きながら実施しています。	お子さんの様子に合わせてできるだけ今後も対応をしていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		室内には段差もなく、滑りやすい床にはマットを敷き安全に配慮しています。また、視覚的に伝えるようにしています。	今後もお子さんひとりひとりに合わせて環境設定をしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		教材は玩具を適宜片付け、毎日清掃を清潔にしています。	今後も引き続き環境を整えていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		課題に取り組むときや気持ちの切り替えを図るとき等お子さんの様子に合わせて個別の部屋を使用できるようにしています。	お子さんの様子に合わせてお部屋を使っています。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		業務日誌を活用し、各職員が振り返りをおこなっています。また会議等で業務改善については話し合っています。	今後も振り返りをおこないながら職員間で話し合いをしていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		評価表の結果を受け、職員間で改善について話し合いをおこなっています。	保護者のご意見を真摯に受け止め、改善に取り組んで参ります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		意見はその都度話し合いをおこない改善に向けて取り組んでいます。施設独自の職員自己評価表を年1回行い振り返りをしています。	今後も振り返りをおこないながら業務改善に取り組んでまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		第三者委員や実習生の意見を受け、業務改善につなげています。	今後も外部の方の意見を伺いながら業務改善に取り組んでまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		法人主催のきりともセミナーやサービス向上委員会主催の勉強会、または外部の研修会に参加することができています。	今後もできる限り研修の機会を設けてまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		専門職の意見も伺いながら支援プログラムを作成し公表しています。	今後もお子さんにとって必要な支援プログラムを変更していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		利用する前に保護者からお子さんの様子を聞き取り、個別支援計画書作成しています。	お子さんの様子をできるだけ丁寧に保護者に聞き取り、個別支援計画を作成していきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		お子さんの支援にあたる職員間で個別支援計画について意見を聞き、情報共有をしています。	日々の活動の振り返りや毎月の会議の中で意見交換をし共有を深めていきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		個別診計画に基づき、長期・短期目標を設定し取り組んだ結果を毎月の会議で情報共有しています。	個別支援計画に沿って職員間で丁寧に実施し、振り返りもおこなっていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		個別記録にお子さんの様子を記録し、支援を行っています。また、月1回の様子をまとめています。	個別記録の項目等も改善しながら今後も取り組んでいきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		個別支援計画書には、お子さんご本人だけでなくご家族を含めて作成しています。	お子さんご家族だけでなく、周りの関係する機関を含めて今後は作成していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		毎日の活動計画を前日に話し合い、様々な意見を出し合って作成しています。	お子さんの変化に合わせて活動計画も日々変更していくように取り組んでいきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		リーダーを定期的に交代する等活動内容が固定しないように工夫しています。お子さんの理解や達成度によっては同じ活動を提供することがあります。	季節を感じる活動や同じ活動を繰り返し取り入れることでお子さんの達成感を促してまいります。

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		専門職と一緒に個別療育と集団療育について情報共有をしながら支援をしています。	今後も専門職と一緒に療育をおこなっていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		前日作成した活動計画を基に、当日打ち合わせをおこない、活動内容や担当職員の動きや流れを共有し、連携しながらおこなっています。	当日のお子さんの登園状況も含めて打ち合わせをおこなっていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		お子さんの降園後に個別記録や活動の振り返り、お子さんの様子について話し合っています。	当日の振り返りを丁寧におこない、次の日の活動を確認しながら決めていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		日々個別記録を記入し、お子さんの支援にあたっては、改善が必要な場合は、記録を見直し改善に努めています。	今後もお子さんに合わせた支援につながるよう振り返りをし改善に努めています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		年2回モニタリングをおこない、保護者と支援内容について確認し、支援計画の見直しをしています。モニタリング以外に日々保護者とお子さんのことについて直接または連絡帳や電話等で共有しています。	お子さんの様子を保護者と職員でできるだけ伝え合いながら個別支援計画の見直しをしていきます。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		サービス担当者会議が開催された場合には、相談員・児童発達支援管理責任者等、お子さんの支援にあたる職員が参加しています。	お子さんの様子が伝えられるように職員間で共有し、サービス担当者会議に参加していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		お子さんを取り巻く関係機関と情報共有をして連携をしています。	今後もお子さんを中心に関係機関と同じ方向を観ながら情報共有していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		並行通園しているお子さんに対しては、幼稚園・保育園・他事業所での様子を伺い情報共有をしています。また、その都度、登園日数等お子さんに望ましい環境はどこかを検討しています。	今後もお子さんの様子に合わせて関係機関と情報共有をしています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		移行する場合は、移行支援計画を作成し、移行先の関係機関と情報共有をしています。	お子さんのスムーズな移行のために関係機関と情報共有をしています。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	5		地域の児童発達支援センターとは、お子さんが利用していた場合に連携をとっています。	児童発達支援センターとは、児童発達支援連絡会にて情報の共有等をおこなっています。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	コロナ以前は園庭開放等を利用することがありました。屋外活動の際には、地域の方やお子さんと交流することがあります。	機会があれば園庭開放等を利用していききたいと思います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		連絡帳や毎日の登園・降園時にお子さんの様子や課題について伝えています。	保護者の方の気持ちを汲み取りながらお子さんを支援できるように情報を伝えあっています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		月に1回子育てサロンを開催し、各家庭のこどもの課題や子育てについての悩みを聞き、必要な情報提供をおこなっています。専門職による個別療育の場面では、お子さんの様子やどのように家庭の中で対応していくのかを直接保護者へ伝えています。	今後も家庭と連携しながらお子さんの発達を促していきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		事前の見学時や契約時に説明を行っています。	わかりづらいこともありますが、できるだけ丁寧に伝えて行きます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		個別療育や面談、モニタリングの際に、保護者の思いや望むお子さんの姿を話し合いながらおこなっています。	保護者の思いを聞く機会をできるだけ多くし、その都度保護者の揺れ動く思いを理解しながら一緒に考えていきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		個別支援計画の説明をおこない、保護者からの同意を得ています。	今後も個別支援計画の説明と同意を頂けるように対応していきます。

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		個別支援計画の説明とモニタリング等年2回面談を設けています。また、連絡帳で悩み等を記入していただいたり、適宜面談をしています。	保護者の日々の様子から毎日お声掛けし、困りごとなどを受け止めていきたいと思えます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		親子で参加する行事や子育てサロンを開催することで、参加を促し保護者同士で交流する機会と設けています。ごきょうだいの参加も可能としています。	お子さんの日々の変化や行事に参加していただくことで前向きになっていただけるように努めてまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		保護者からの相談があった時は、上司へ報告し必要に応じて面談を設けています。	今後もお子さんだけでなく、保護者の方のお気持ちを受け止めていきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		月に1度月案を作成し、行事や月の予定をお知らせしています。	今後でもできるだけわかりやすく、お知らせしていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人のファイルは書庫に保管され、鍵がかかるようになっています。電子文書も鍵のかかるところに保管をしています。	今後も個人情報の取扱いには細心の注意を払って対応していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		お子さんにはそれぞれの課題に合わせた配慮をしています。保護者に対しても必要に応じて文書でお渡ししています。	それぞれに合わせた情報伝達の工夫をしております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		年1回ですが法人のお祭りには地域の方もご参加できるお祭りを開催しています。	今後も地域の方に見守られながら事業運営をしていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		職員間ではマニュアルを活用し対応しています。保護者に対しては周知していません。法人内で毎月1回火災による避難訓練を実施しています。年1回は地震対応の訓練、風水害の訓練を実施しています。お子さんは登園日の場合には参加しています。	それぞれのマニュアル作成については保護者へ情報として周知できるように対応していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		災害時には業務継続計画を基に訓練をおこなっています。	事業継続訓練を実施し、対応をしていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		アセスメント時や随時必要なことは保護者へ聞き取り確認し対応しています。	服薬や低血糖の対応については保護者と十分に確認をして対応していきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		意思の指示書を基に対応しています。また、食物アレルギー対応マニュアルにもとに支援者と栄養士・調理員と確認をおこなっています。	食物アレルギーに関しては細心の注意を払い、全職員で確認しながら対応していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画の項目に合わせて職員間で周知し、必要な訓練や研修等をおこなっています。	お子さんの安全を守るためのマニュアルととして今後も計画的に研修等を実施していきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		保護者に安全計画については細かく説明をしていませんが、項目ごとに説明をする機会を持つようになっています。	今後も丁寧に説明をしていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットや事故報告書を作成し、事故の原因、今後の対応等についてその都度検討し記録しています。	今後も過去のヒヤリハットや事故報告書を基に職員間で内容の検討や気づきを促し、自分事に置き換えて考えていく機会を作っていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待に関する研修や適切な支援を職員が振り返り客観的に捉えられるように話し合っています。	必要な研修の機会を確保し、職員間で話し合う機会をできるだけ設けていきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		ひとつひとつの行動が身体拘束になっているのかどうかを話し合っています。適切な支援が何なのかを話し合っています。個別支援計画には手つなぎも含めて身体拘束にあたることを記載し、保護者へ説明しています。	